

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

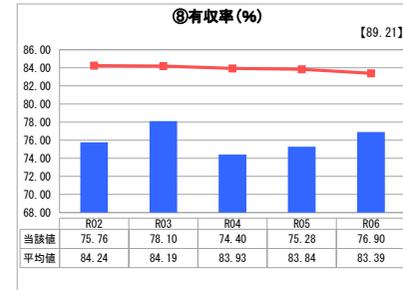
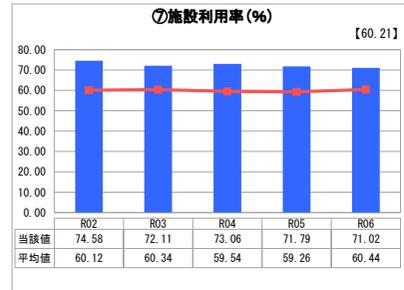
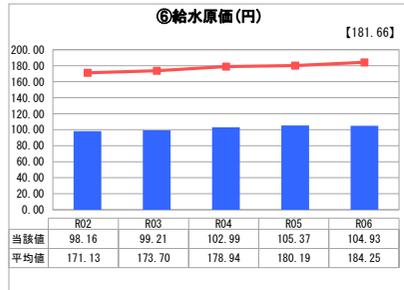
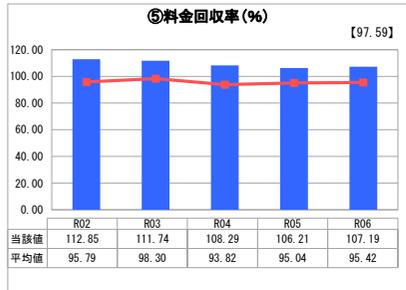
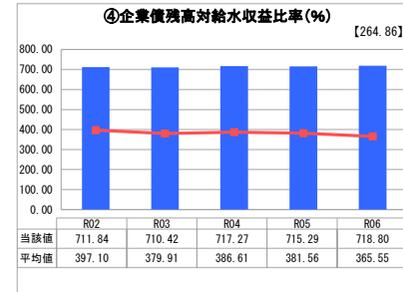
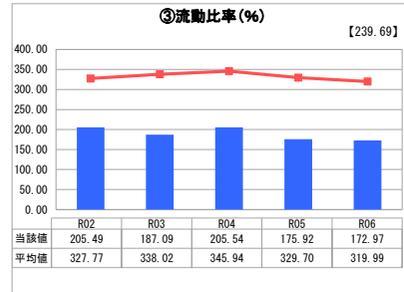
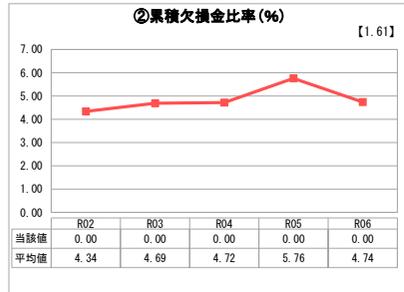
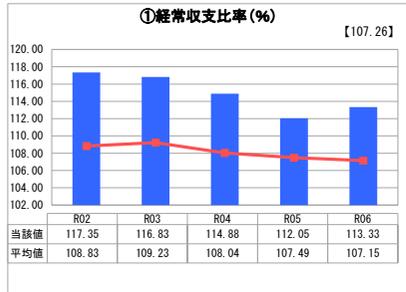
高知県 南国市

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	46.38	88.14	1,660	

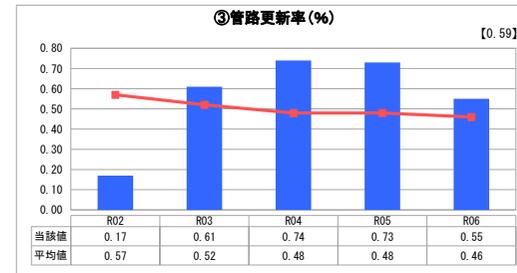
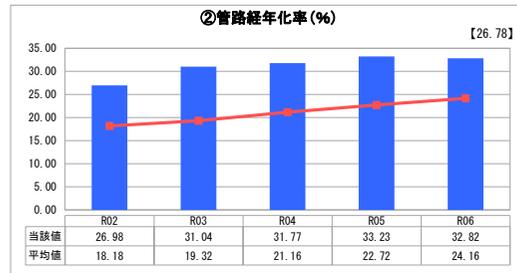
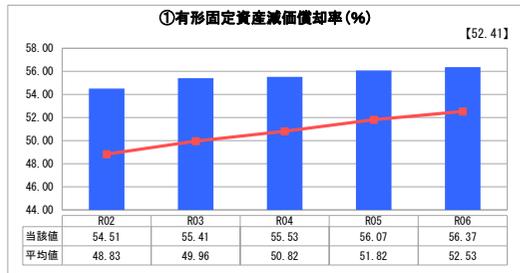
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
45,979	125.30	366.95
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,223	34.95	1,150.87

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経費高騰の中、経常収支比率及び料金回収率は100%を超えています。水道料金を低価格で抑えてきたこともあり、流動比率が低く、運転資金に余裕がない状態です。一方で、企業債残高対給水収益比率は大幅に高くなっており、企業債の償還費用が経営の圧迫要因となっています。

### 2. 老朽化の状況について

水道施設については、費用や人員等の不足で更新が遅れており、経年化が進行しています。近年は南海トラフ地震対策として基幹管路等の耐震化を進めており、施設の更新も計画的に進めていく予定です。

### 全体総括

今後は人口減少に伴い、給水需要も縮小する見込みですが、水道施設は次々と耐用年数を迎え、更新需要は高まるばかりです。人件費や動力・資材費等の高騰で、運営費用にも不足する中、必要な建設投資を確実に進めていくために、令和7年4月より約2.2%増の料金改定を行います。一方、市全体でも職員不足で一般会計業務にも職員が駆り出される状況で、人材確保や技術継承が困難になっているため、事業量にも限界があります。経営戦略、アセットマネジメントを元に、有効な施設更新と適正な料金水準で、持続可能な水道事業経営を目指します。